

静岡県基本構想骨子案作成方針

NECソリューションイノベータ株式会社

はじめに

◆ 「基本構想骨子案」と「基本構想案」につきまして

2022年3月までで新図書館システムにおける「基本構想案」の策定を進めていきますが、「基本構想案」の前に、概要を整理した「基本構想骨子案」を作成致します。本資料ではその「基本構想骨子案」の作成方針について整理をさせていただきます。

◆ 「基本構想骨子案」と「基本構想案」の概要とスケジュール

■ 概要

次ページ参照

■ スケジュール

基本構想骨子案： 2021/10～11

基本構想案： 2021/12～2022/3

各資料の作成イメージ

◆ 基本構想骨子案

館内外における全体像を俯瞰できる図表。

A3サイズ横で2ページ程度を想定しており、体裁は静岡県様が作成された「新県立中央図書館整備計画（令和3年3月）概要版」に近いイメージで考えております。情報システムに関する計画を整理します。

◆ 基本構想案

利用者の利便性向上や図書館サービスの在り方を踏まえ、それを実現するための情報通信ネットワークや情報システムについての構想案。

A4サイズ縦で本文のみ30ページ程度を想定しており、体裁は静岡県様が作成された「新県立中央図書館整備計画」に近いイメージで考えております。また、新技術等の情報についてはイメージ等も含め、別紙として基本構想案に盛り込みます。

最新技術調査

◆ 最新技術の活用事例についてNESで調査します。【～9/17予定】

【調査方針】

最新技術について具体的な活用シーンや、導入による注意点や費用対効果を調査し、新図書館システムへ導入すべき技術かを検討します。事例が少なく調査が難しい最新技術等については静岡県様と合意の上、調査範囲で調整の上、可能な範囲で整理します。

【調査対象項目】

調査対象項目は以下を考えております。有識者会議や図書館ヒアリングで、調査すべき対象が出てきた場合は静岡県様とご相談の上、調査対象として追加します。

調査対象項目		
P3		
デジタルアーカイブ	テーマ別配架	入退管理
AI	電子図書館	
P4		
オンラインサービス	自動貸出機、返却機、予約棚	ソーシャルディスタンス
Web会議	デジタルサイネージ	
P5		
VR	AR	ユニバーサルデザイン
ロボット	ディスカバリーサービス	

最新技術調査

各調査項目の整理方針は以下を検討しています。他図書館等への現地調査で得た情報も踏まえつつ整理します。

- ▶ デジタルアーカイブ
 - ・ デジタルアーカイブの提供方法や環境、 IIIFやDOIなどの規格について整理する
 - ・ 外部サービスのサービス内容や仕様を調査し、単館で用意する方法と比較整理する

- ▶ テーマ別配架
 - ・ ICタグを活用した書籍の分類や位置情報等、テーマ別配架を実現するために必要な技術や課題、ICタグに設定すべき属性情報等について整理する

- ▶ 入退管理
 - ・ 生体認証に関して種別(顔、虹彩、指紋等)に比較を行い、メリット・デメリットを整理する
 - ・ 図書館カードを不要とした一要素認証に関しても整理する

- ▶ AI
 - ・ チャットボットや属性情報を活用したレコメンドなどの技術要素を整理する
 - ・ 第一回有識者会議で説明いただいたデータ駆動型サービス実現における技術や課題を整理する

- ▶ 電子図書館
 - ・ 既存の電子図書館サービスの特徴について比較表を整理する(提供方法、コンテンツラインナップ、ライセンスなど)

最新技術調査

- ▶ オンラインサービス
 - ・ マイナンバーカード活用等のオンラインサービスの提案及び各システムの機能概要やメリット・デメリットを整理する

- ▶ 自動貸出機、返却機、予約棚
 - ・ 弊社ソリューションを中心に自動貸出機・返却機や予約棚等のセルフサービス・非対面サービスの概要や注意点、費用対効果を整理する

- ▶ ソーシャルディスタンス
 - ・ 弊社ソリューションを中心にソーシャルディスタンスの支援が可能なサービスをご提案する
 - ・ 赤外線や映像分析など手法に関しても、比較表にてメリット・デメリットを整理する

- ▶ Web会議
 - ・ Zoom、Teams等のWebコミュニケーションツールの洗い出しと、比較表にて各コミュニケーションツール利用時に必要な環境、メリット・デメリット等を整理する
 - ・ 庁内LANとの接続や市町村立図書館との連携等、他図書館での活用事例を調査する

- ▶ デジタルサイネージ
 - ・ 他図書館や公共文化施設での活用事例を調査し、導入にあたっての注意点等を整理する

最新技術調査

▶VR

- ・他図書館や公共文化施設での活用事例を調査し、導入にあたっての注意点等を整理する

▶AR

- ・AR技術が図書館でどのように利用できるか活用シーンについての提案資料を整理する

▶ユニバーサルデザイン

- ・ユニバーサルデザインに関する資料の調査を行い、事例や注意点等を整理する
- ・他図書館等での障がい者や海外の利用者向けに行っている事例等について整理する

▶ロボット

- ・蔵書点検やデリバリー、利用案内などのロボットが存在するかを調査、整理する
- ・ロボットとエレベータ連携のインターフェースについて調査を行い、課題等を整理する

▶ディスカバリーサービス

- ・ディスカバリーサービス導入にあたっての導入事例や関係する企業、OPACとの住み分けの考え方や導入方針等を整理する

なお、各技術においてコミュニケーションデザインの観点で下記の実現も意識して整理する

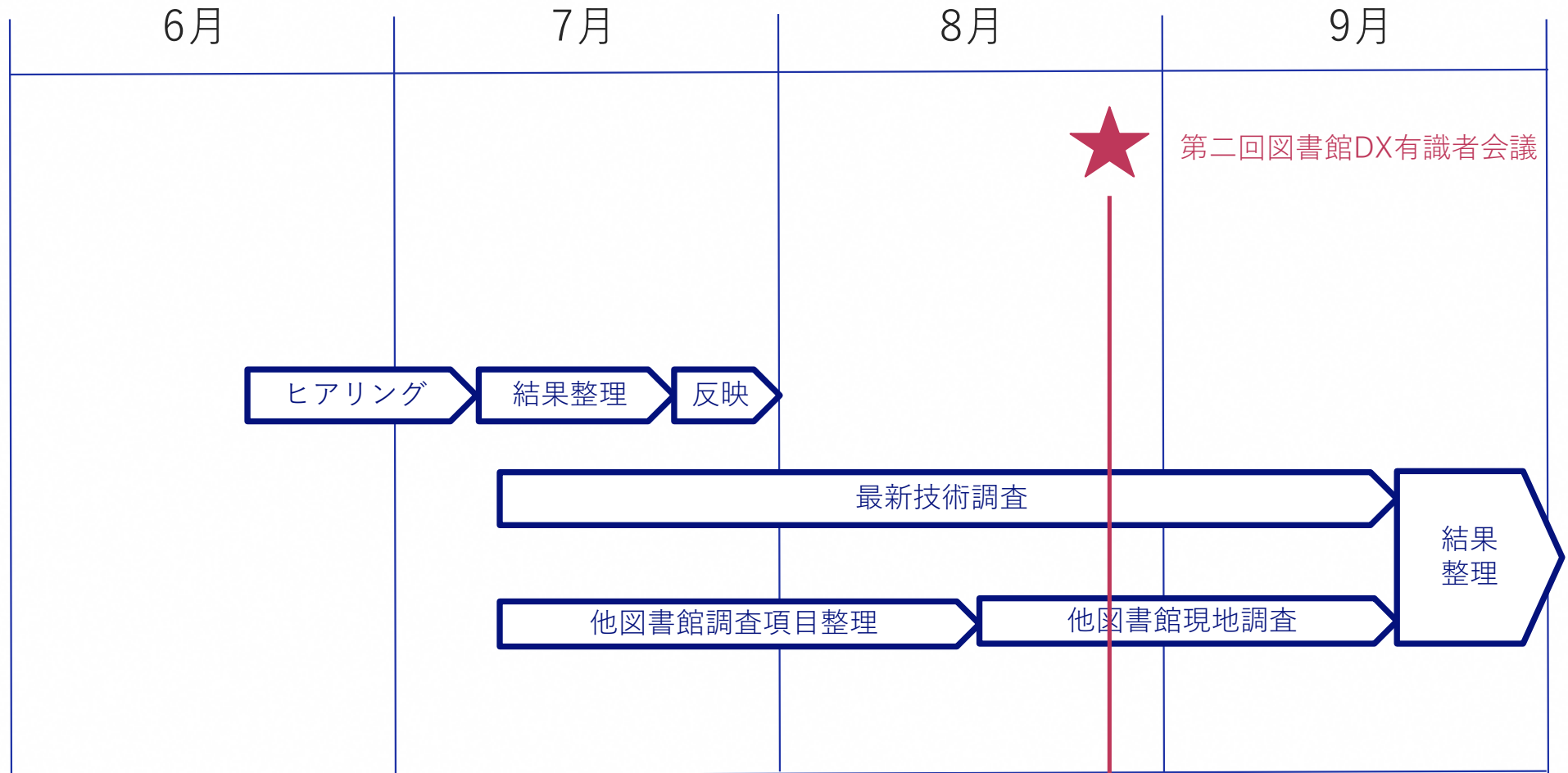
- ・インターフェースの統一
- ・職員、利用者ともにわかりやすい操作性

最新事例・他図書館比較

◆ 他県図書館及び参考になりそうな公共施設について、現地調査を実施します。

- ① NESの事前調査及び図書館ヒアリングにて要望が多かった機能を中心に調査項目を整理する。 【実施済】
 - ・ 調査範囲について
 - サービスの概要及び構成（NWやオンプレ/クラウド等もわかる範囲で）
 - 情報機器（3Dプリンタ等の物品類）
 - ・ 調査内容について
 - 導入による効果（メリデメ）、導入時の注意点・失敗事項
 - 扱うコンテンツやデータの広がり
 - 貴県のヒアリングの中で「興味のある技術」として挙げられたシステムが導入されているか
 - ・ 体制について
 - システム導入時の体制、システム運用時の体制（どういった組織を巻き込んだか、IT人材がいるかなど）
- ② 調査項目に従い公共施設に対してヒアリングを実施する。 【～9/17予定】
 - 調査対象（検討中）：高知県立図書館、石川県立図書館、長野県立図書館、奈良県立図書情報館、大阪市立図書館、神戸KIITO
 - その他、NIPPON GALLERY TABIDO等の都内施設

大日程スケジュール

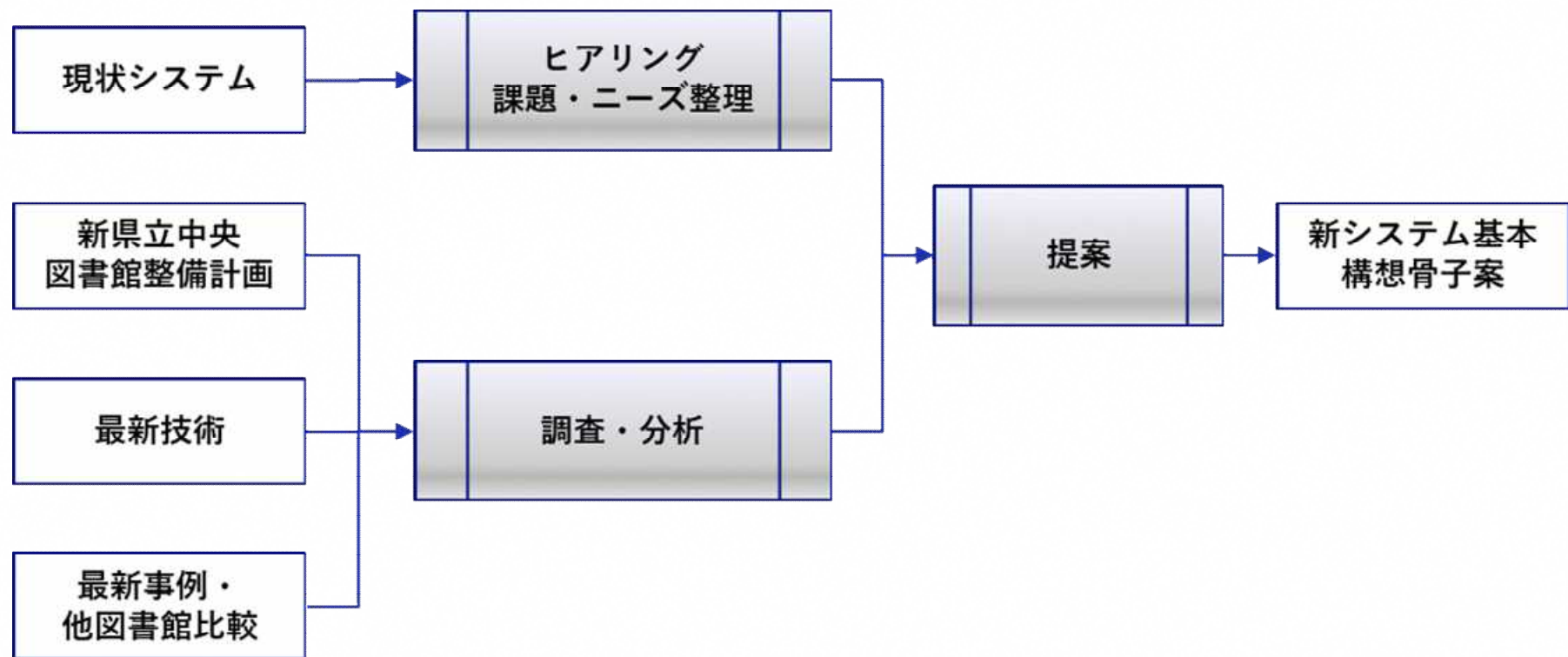


第二回図書館DX有識者会議では、会議時点の状況を共有し、有識者の方々より、技術調査や現地調査に対してのご意見をいただければと思います。ご意見を伺った上で必要に応じて追加調査や改善を行います。

参考：基本構想骨子案の作成方針

- ・ 図書館様に現行運用における要望や不満等を伺い、課題・ニーズを整理します。
- ・ 最新技術の調査、他図書館等の最新事例の調査を行い、効果を分析します。

⇒ 上記結果を踏まえ、NESより静岡県様に新館のシステム基本構想に盛り込むべき項目について提案を行い、基本構想骨子案に落とし込んでいきます。



参考：ヒアリングについて

- ◆ 下記の通りヒアリングを行い、要望事項の整理を実施致しました。
ヒアリングの中で詳細な調査が必要と感じた内容は他図書館への調査票に確認項目として追加しております。
- ① 現行の図書館運用における不満や要望事項を図書館様より提示【7/7済】
- ② NESにて①の結果を整理【7/20済】
- ③ ①でいただいた要望事項の背景や不明点を図書館様にヒアリング【7/29済】
- ④ ②、③の内容を他図書館調査時の調査項目に反映【8/13済】

\Orchestrating a brighter world

NEC